

上田市政について

丸谷 利一 議員

問 郡山市の財政は、市債(借金)は奈良市に次いで2番目に多く、経常収支比率も95%台で県下でも高く財政の硬直化が続いている。市長は本市の財政状態をどのように考えているのか。こうした財政状態の中で市長自ら身を切る覚悟があるのかを答えて頂きたい。

答 経常収支比率は、重要な指標と認識しつつ市民サービス向上とのバランスをとり、行財政運営をしております。本市の財政状況につきましては、県下での位置では、12市の中で「中より上」であると認識しております。「身を切る覚悟があるのか」につきましては、大和郡山市特別職報酬等審議会の答申を尊重してまいります。

・他の質問項目：選挙管理委員会の公正運営について

中学校各教室のエアコン設置の時期について

東川 勇夫 議員

問 私が、中学校給食の実施を提案した時に上田市長は敏速な対応で中学校給食を実施されました。また、猛暑の中で学習する生徒の為に何としても中学校の各教室にエアコン設置を願って、私が提案しましたところ上田市長は早速エアコン設置の設計費を平成29年度予算に計上され感謝をしております。子供達の為に一日も早い実現を願いますが、エアコンの設置は何時になるのか。

答 中学校の各教室にエアコンを設置する場合、大規模な工事であり、設計が必要となります。平成29年度中に設計を完了、議会において設置の予算を承認いただき、平成30年の夏休み中に工事予定です。エアコン使用開始は、平成30年9月の二学期からと考えております。

障がい者施策について

上田 健二 議員

問 点字ディスプレイ、ブレイルメモの給付要件に、聴覚障害を重複しない視覚障害者にも対象を拡げるべきだと考えるがどうか。点字図書は給付対象に、点字毎日という新聞を加えてはどうか。福祉避難所の整備はどうなっているか。

答 点字ディスプレイの給付要件は、18歳以上の聴覚障害2級かつ視覚障害2級以上の人を対象と定めており、変更は考えておりません。点字毎日は、視覚障害者の情報取得に配慮し、今後、給付について検討してまいります。福祉避難所は、現在、社会福祉会館と老人福祉センターとなっていますが、収容人数等を考慮し、後は市内の介護施設等の協力を得ることを検討してまいります。

企業立地について

乾 充徳 議員

問 本市は企業誘致出来る条件が県内でも一番良い立地にあると考えます。今こそ総力で立地に取り組むべきだと思います。誘致する事によって、雇用創出や税収が必ず増えること間違いのないと思う。市として企業立地についての取り組みや計画をお答え下さい。今がチャンスです。

答 企業立地による産業の振興・雇用の促進で、人口の増加や稼働企業から納税される税収増が期待されます。本年1月1日付けにて、奈良県と一層の連携を進めるため市内に工業ゾーン創出に向けたプロジェクトチームを設置しました。今後、県と市が協力し合い、それぞれの得意分野を活かし、企業立地の促進に努めてまいります。

・他の質問項目：市の税政について

市の財政状況について

出口 真一 議員

問 平成22年当時は土地開発公社の問題や住宅新築資金特別会計の問題など財政を圧迫する要件を抱え、城ホール市債の償還など厳しい財政状況下であったと認識していますが、現在の市債の償還の状況や償還のピークについて、また市債の交付税算入についての答弁を求めます。

答 給食センター建設、清掃センター長寿命化事業における市債発行や、過去に発行しました城ホール建設に係る市債、土地開発公社解散に伴い発行しました市債の償還も続いております。市債の残高については、今が一つのピークと考えております。また、本市の市債残高の内5割程が地方交付税へ算入される見込みです。

・他の質問項目：上下水道事業会計の財政状況について

矢田認定こども園について

吉川 幸喜 議員

問 平成30年4月の矢田認定こども園開園まで、およそ1年となりました。工事の進捗状況と矢田幼稚園、矢田山保育園の統合に向けた運営面の取り組み状況をお聞かせ下さい。また、定員拡大に向けて保育士等十分な職員の確保を要望いたします。

答 工事の進捗については、建築基礎工事が始まり、工程通り、順調に進んでおります。また、運営面では矢田幼稚園と矢田山保育園が統合することにあたり治道認定こども園の運営ノウハウを取り入れながら、両園の子どもたちの交流、職員の合同会議、研修等を行い、平成30年4月の開園においては、自然な形で統合できるように進めております。